

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-3-1		事業名	開かれた消防活動の推進
担当	消防局予防部予防課 滝沢 TEL 215-2040			
全 体 計 画				
事業内容	地域での防火対策を進めるため、市民に密着した防火教育や防火相談の充実に取り組む。 そのため、小学校4年生を対象に消防活動に関する体験型授業を行う「教えて！ファイヤーマン」事業を実施する。 また、地域と協働し、防火に取り組むまちづくり活動の支援を行うため、消防署所に市民が気軽に防火相談をすることができる相談窓口の充実に取り組み、市民に開かれた消防活動を推進する。		＜年度別の事業内容＞	
			「教えて！ファイヤーマン」事業を、要望する全ての小学校で実施する。 【19年度】 実施校203校 児童数約15,000人 【20年度】 実施校203校 児童数約15,000人 【21年度】 実施校203校 児童数約15,000人 【22年度】 要望する全ての小学校	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	「教えて！ファイヤーマン」事業を、市立小学校203校で実施し、約15,000人の児童が受講した。		「教えて！ファイヤーマン」事業を、市立小学校203校、対象児童数約15,000人で実施した。 また、地域ごとに消防署一日公開や火災予防行事を実施し、市民に密着した防火教育や防火相談の充実に取り組んだ。	
事業内容・量・場	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	「教えて！ファイヤーマン」事業を、市立小学校202校、私立小学校1校の計203校で実施、受講児童数は約15,000人であった。また、各地域で消防署の一日公開や火災予防行事を実施し、市民に分かりやすい防火教育や防火相談に取り組んだ。		「教えて！ファイヤーマン」事業を、市立小学校200校、私立小学校1校の計201校で実施し、受講児童数は約14,500人であった。 また、各地域で消防署の一日公開や火災予防行事を実施し、市民に分かりやすい防火教育や防火相談に取り組んだ。	
事業内容・規模・件数等				

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-3-1			事業名	開かれた消防活動の推進		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (実 績)	22年度末 (目 標)	
「教えて!ファイヤーマン」事業の実施校数	要望する全小 学校(203校)	要望する全小 学校(203校)	要望する全小 学校(203校)	要望する全小 学校(203校)	要望する全小 学校(201校)	要望する全小 学校	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 授業を受けた児童が本事業のことを家庭で話すことで、児童から家庭へ、家庭から地域へ、防火防災意識の波及効果を図ることが期待できる。また、市民の防火相談により、まちづくりの活動の支援を行うことで、地域住民が積極的に火災予防行事や避難訓練などに参加し、防火防災意識の向上が期待できる。</p> <p>■企業等との連携・協働 (該当なし) [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力]</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 消防署を身近な存在に感じてもらうと、庁舎の一日公開などを実施し、地域と顔の見える関係、地域の声を積極的に聞く体制をつくる。また、防火委員会や少年消防クラブなどの関係団体が、消防署所を活動拠点として、地域に密着した活動を実施できるようにしている。</p>							
評 価 (成 果)			課 題				
<p>「教えて!ファイヤーマン」事業は、ほとんどの市立小学校で実施しており、実施校でのアンケート結果によると、受講した児童の9割以上が学習内容を理解しているため、防火防災の基礎や命の尊さを伝えることができている。</p> <p>また、「教えて!ファイヤーマン」事業で学んだことを家族に話した児童は8割以上おり、家庭への防火防災意識向上について波及効果が期待できる。</p>			<p>「教えて!ファイヤーマン」事業について、子どもの目線から見たもっとわかりやすい内容に充実し、使用する資機材等の更新整備を図る必要がある。</p> <p>また、児童の父母や地域住民などへ積極的に授業参観を呼びかけ、さらに地域における防火防災意識の向上に繋げていく必要がある。</p>				
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向							
<p>小学校4年生を対象としている「教えて!ファイヤーマン」事業の学習内容の充実を図るとともに、将来の防火・防災の担い手となる中学生に対しても、実生活で活用できる、防火・防災に関する技術や知識についての授業を行う「ジュニア防火・防災スクール」事業を実施し、青少年への防火・防災教育を推進する。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード	4-3-1		事業名	開かれた消防活動の推進		
事業費の推移						
	項目	19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	—	—	—	—	—
	財源内訳					
	国・道支出金					
	市の債					
予算	事業費	0	0	0	0	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市の債	0	0	0	0	0
実績	事業費	0	0	0	0	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市の債	0	0	0	0	0
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)				—
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)						
《全体》 予算なし [19年度] [20年度] [21年度] [22年度]						